



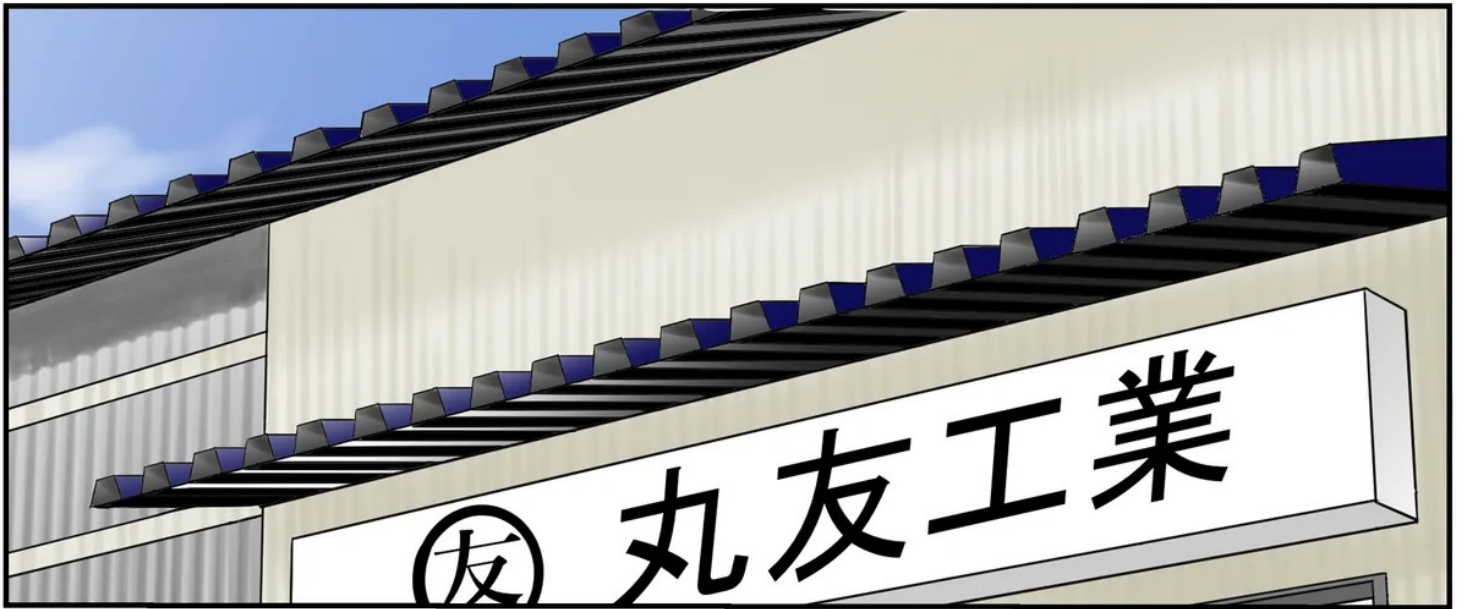
町工場勤務

木村香澄 (31)

社長っそんなの
ズルいです。

業の丸

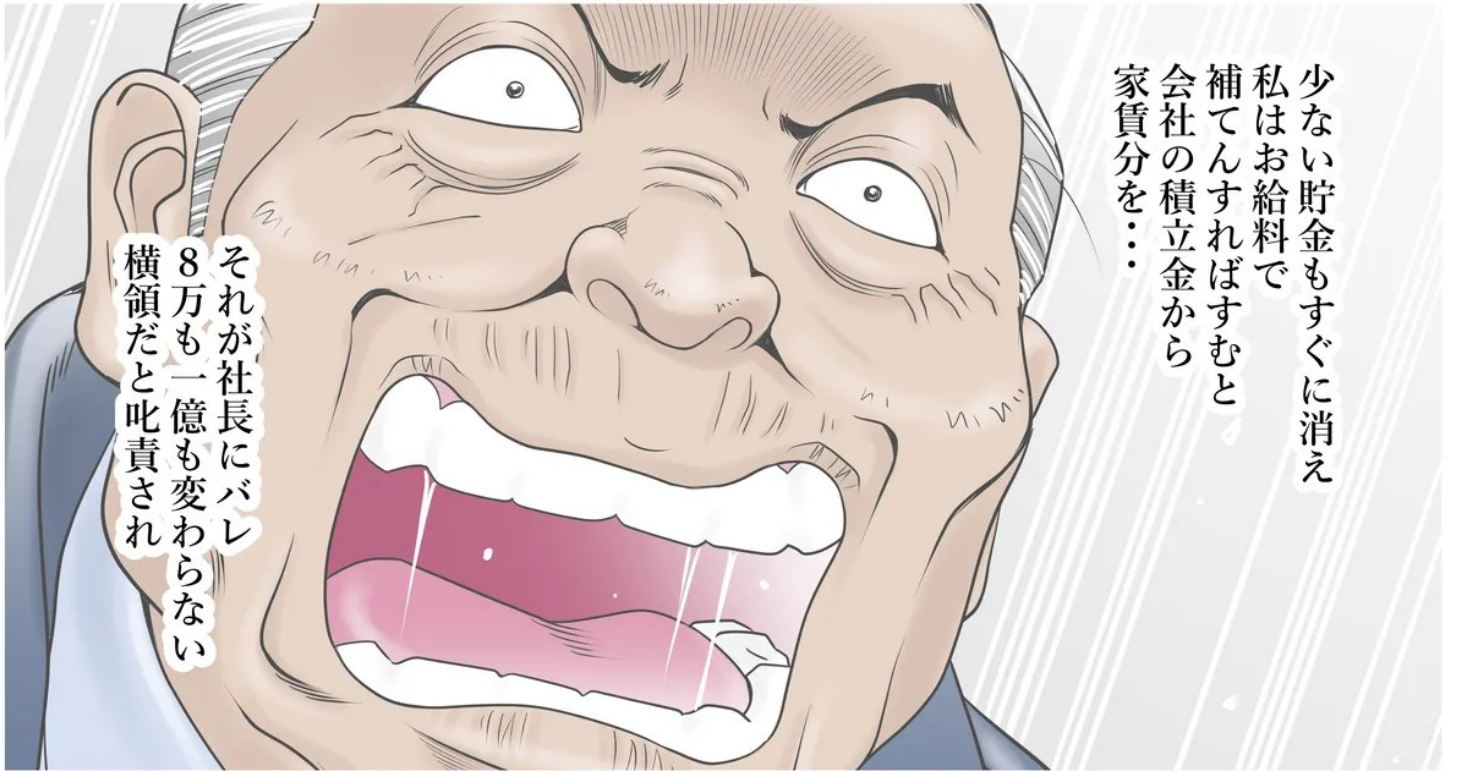
第一







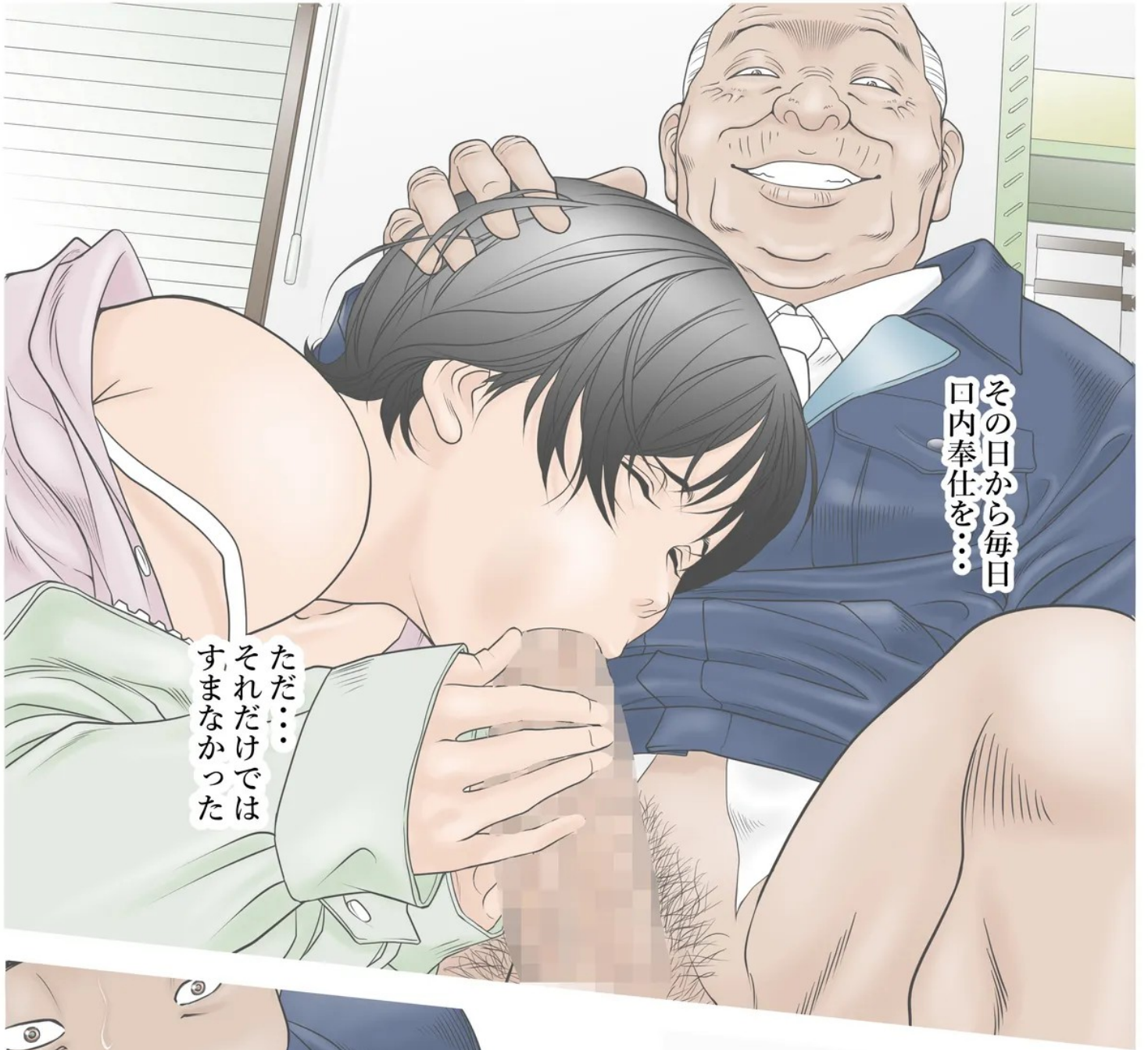
事の発端は
主人(自営)が怪我で入院
収入が途絶えてしまったこと



少ない貯金もすぐに消え
私はお給料で
補てんすればすむと
会社の積立金から
家賃分を…

それが社長にバレ
8万も一億も変わらない
横領だと叱責され

警察に突き出さない
条件として…



その日から毎日
回内奉仕を...

ただ...
それだけでは
すまなかった



私と社長の関係を知った
社員たちが...つぎつぎと...



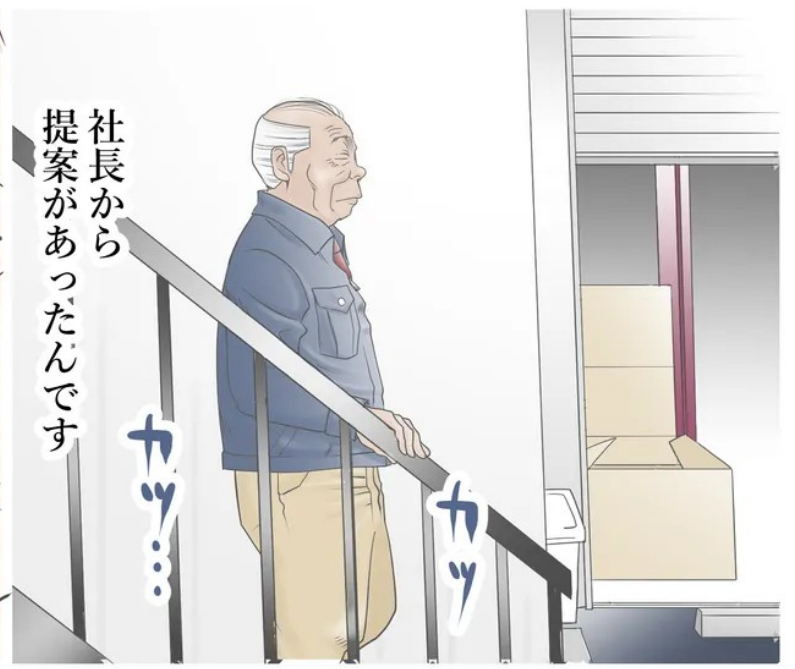


まるで社長を
見習ったかのように
わたしの口を……



そんな日常が変わったのは
取引先の銀行から

融資が受けられないと
いう話が持ち上がった日



社長から
提案があつたんです

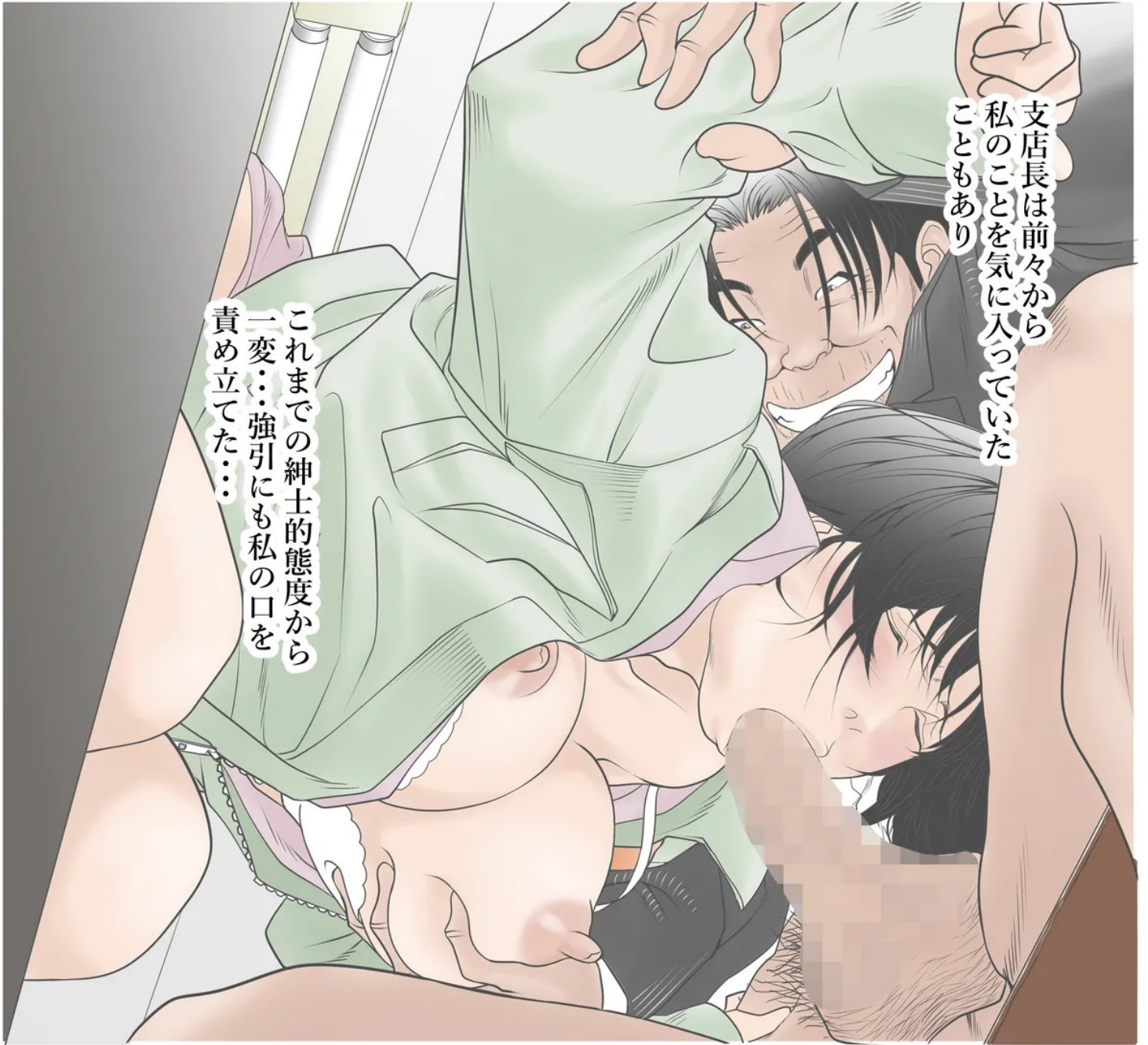
カッ...

カッ



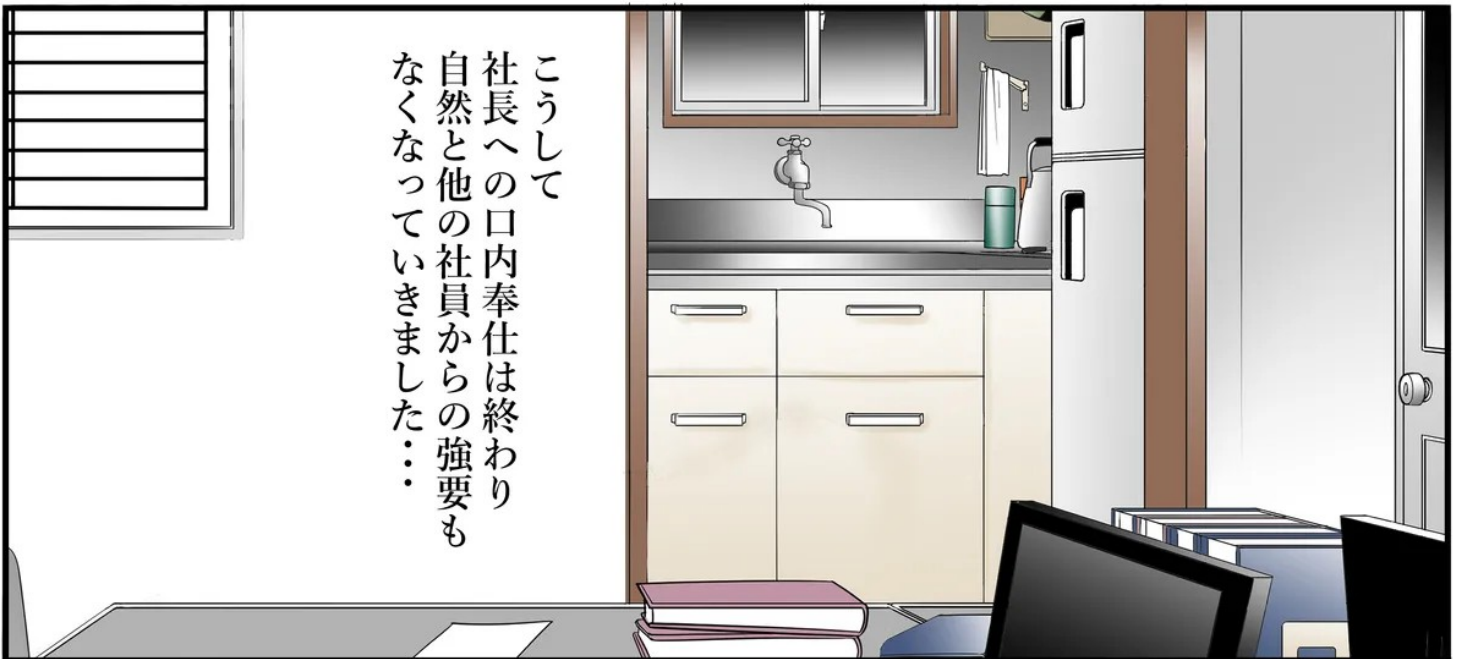
これで融資を
受けることができれば
横領の罪も口内奉仕からも
解放すると...

それは私が支店長さんへの
人身御供になる事

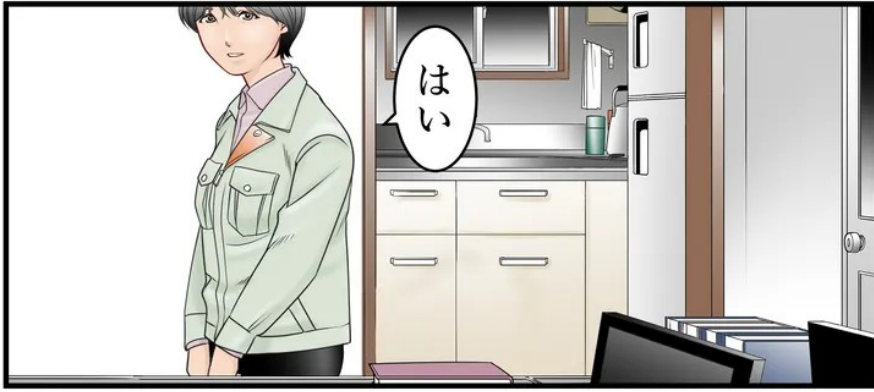


支店長は前々から
私のことを気に入っていた
こともあり

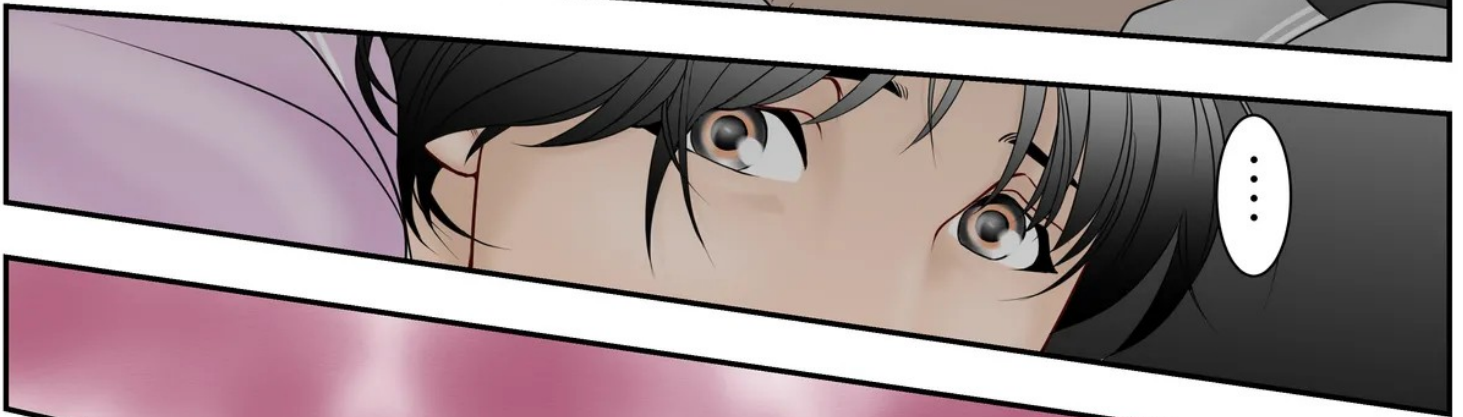
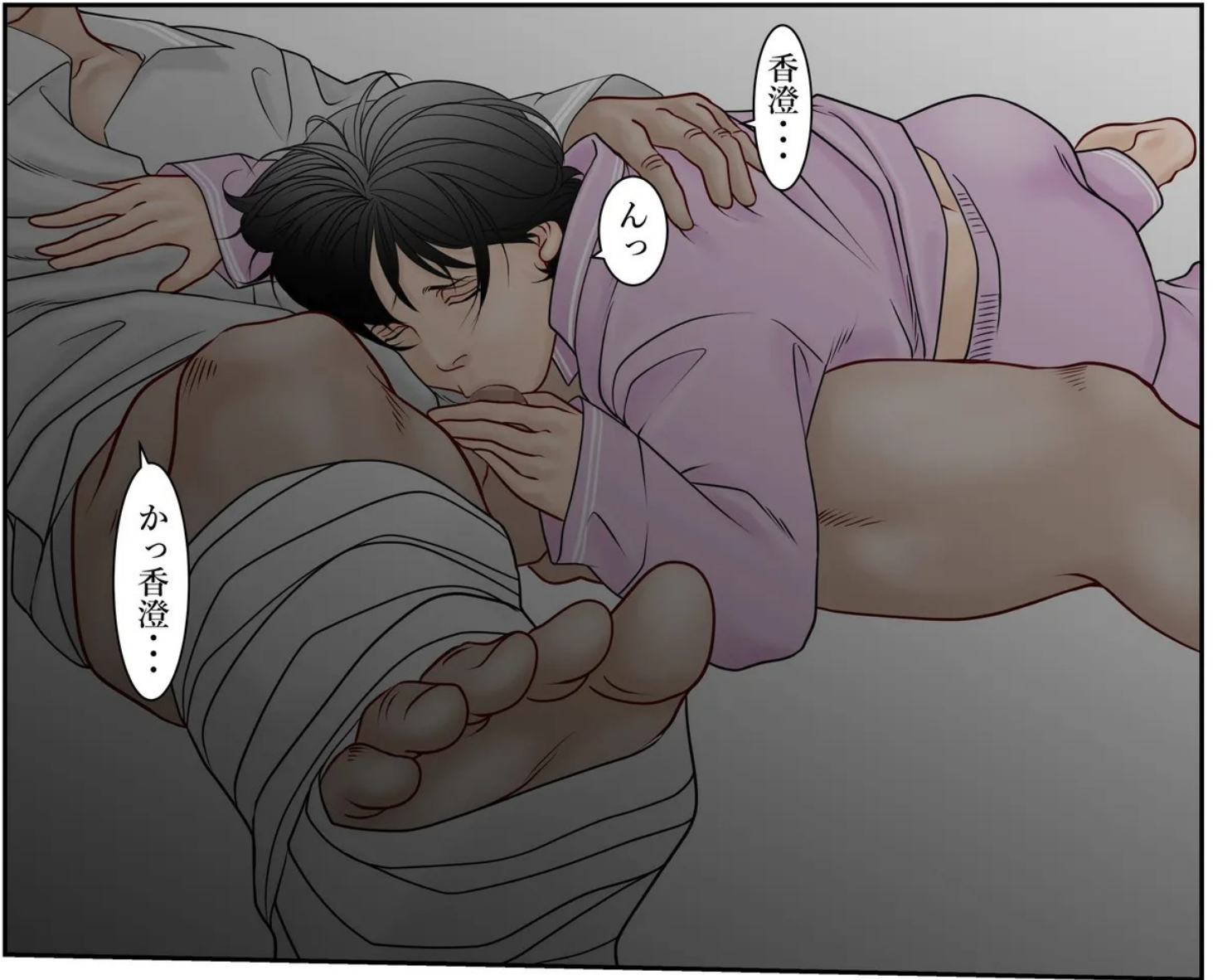
これまでの紳士的態度から
一変…強引にも私の口を
責め立てた…



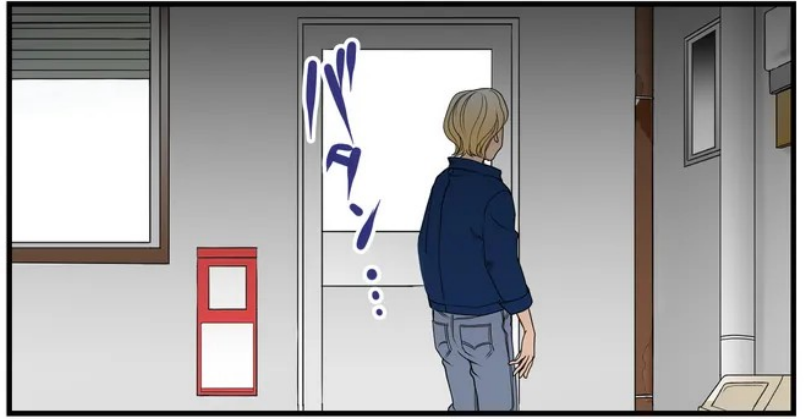
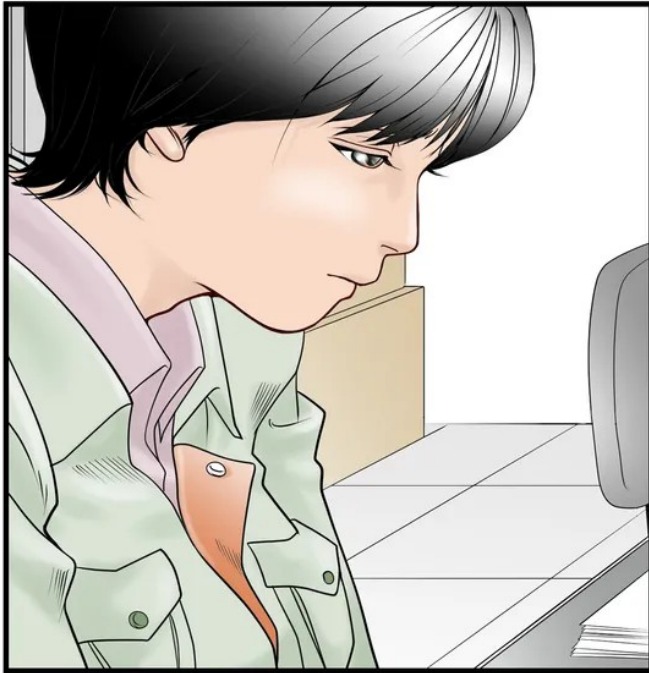
こうして
社長への口内奉仕は終わり
自然と他の社員からの強要も
なくなっていきました…



これまで
さんざん男性のモノを
啜えさせられてきた
私も女・・・
主人が帰ってきて
心も身体も高鳴らずには
いられなかった・・・

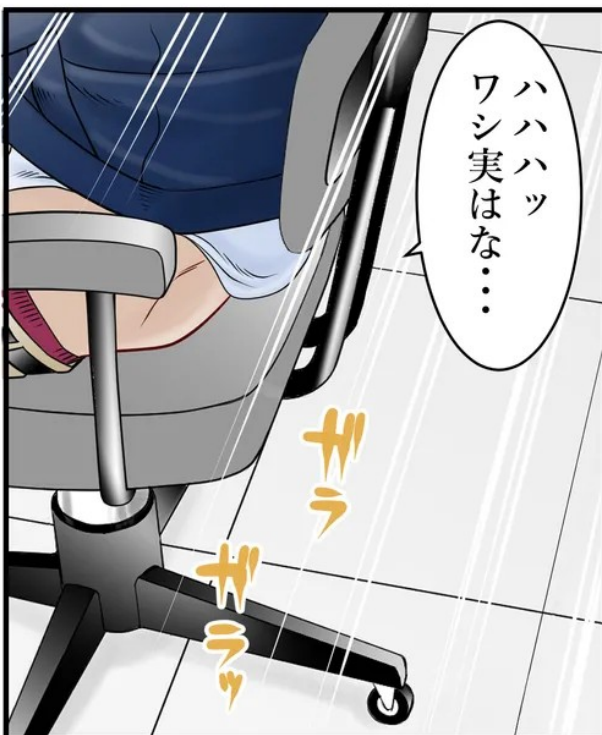




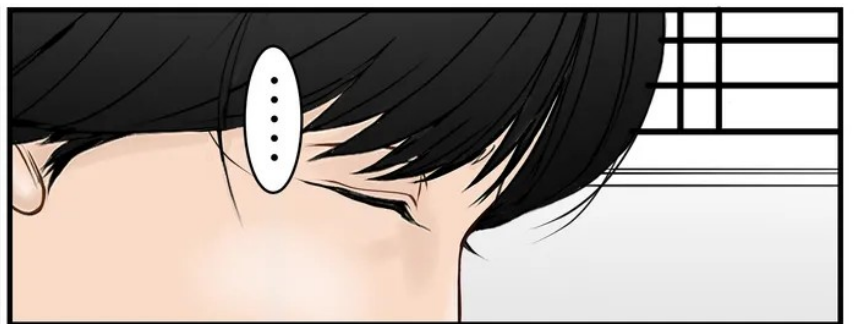


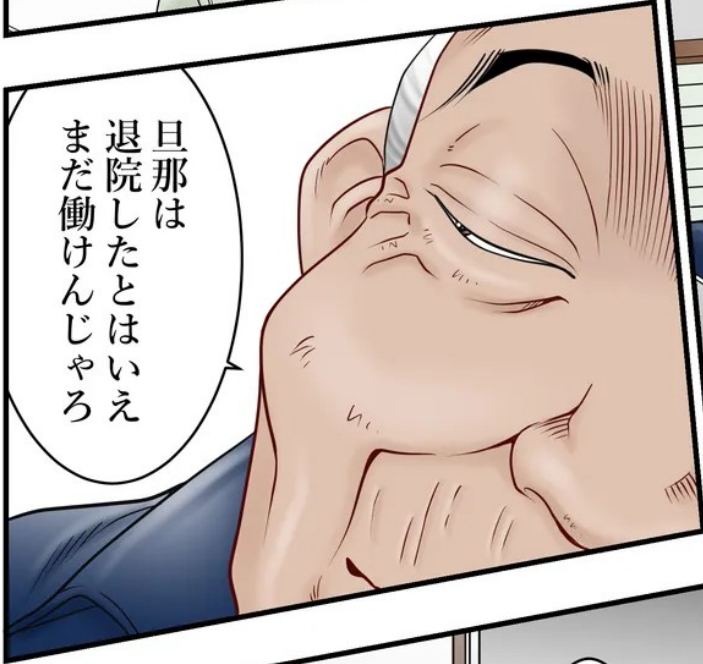
香澄さん
今日一日あんまり
スッキリした顔
しとらんなア

旦那が帰って
来てるのに
抱いてもらって
ないんか...



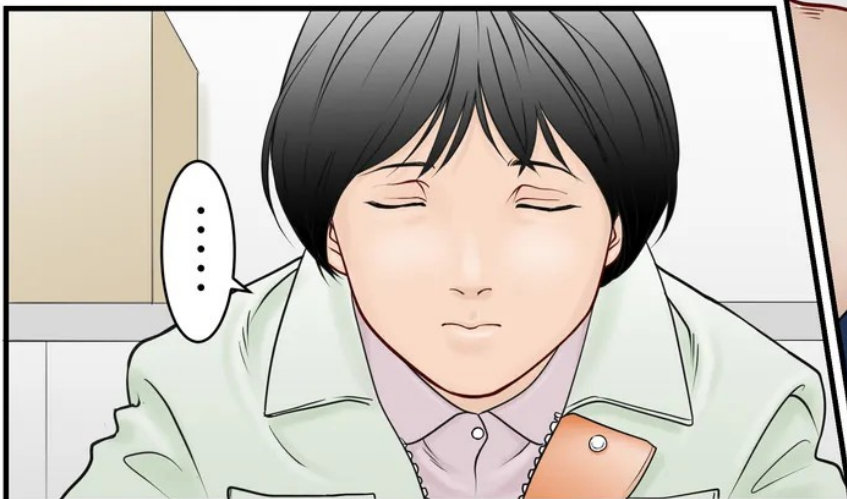
ハハハッ
ワシ実はな...

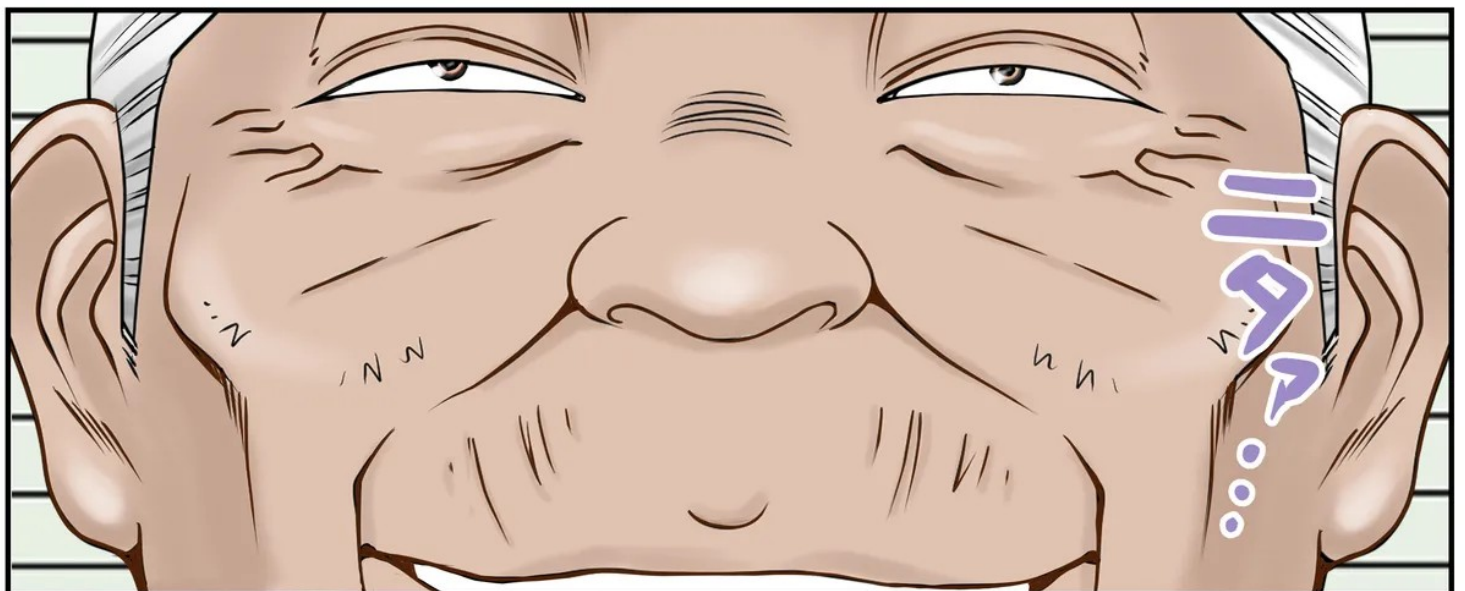


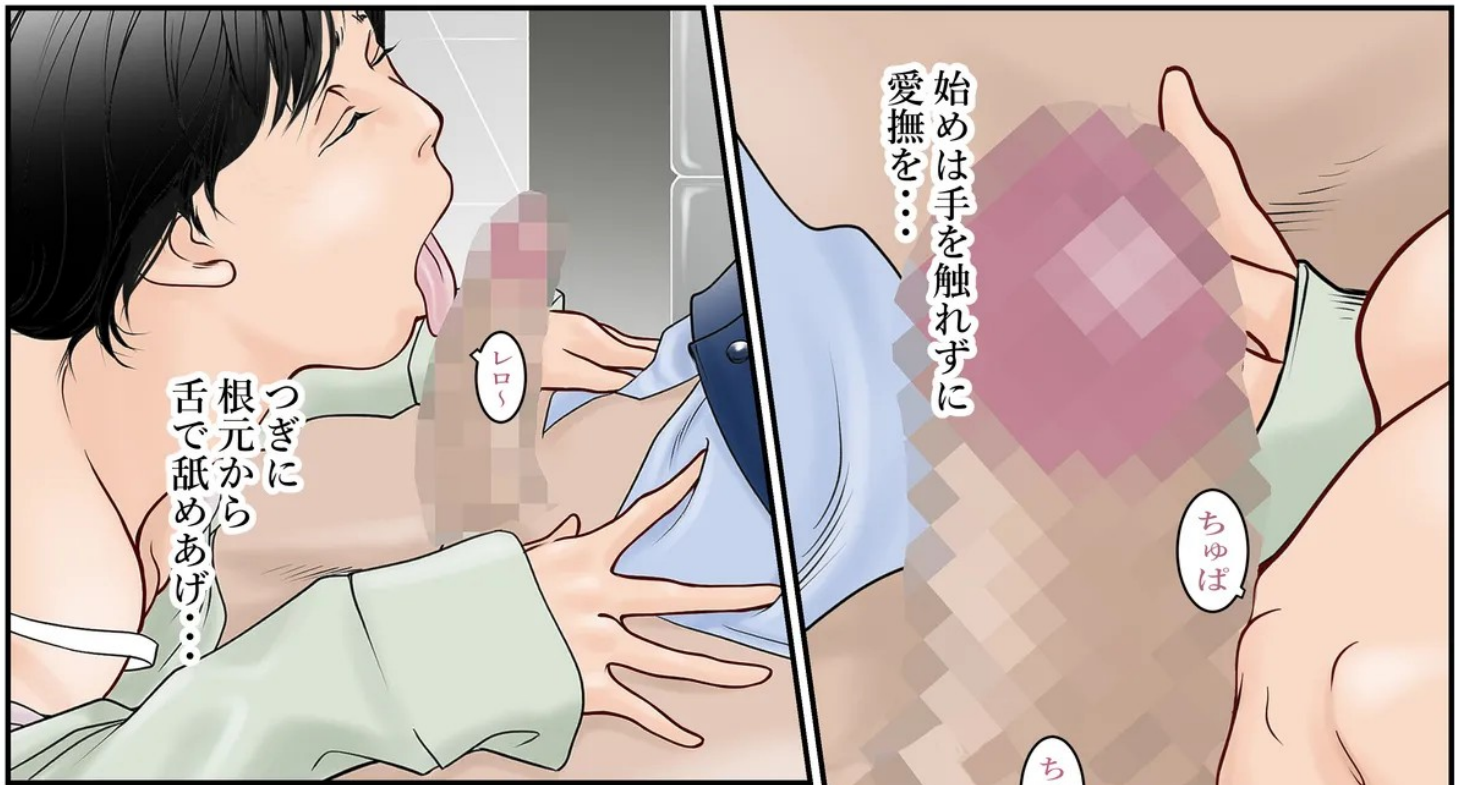
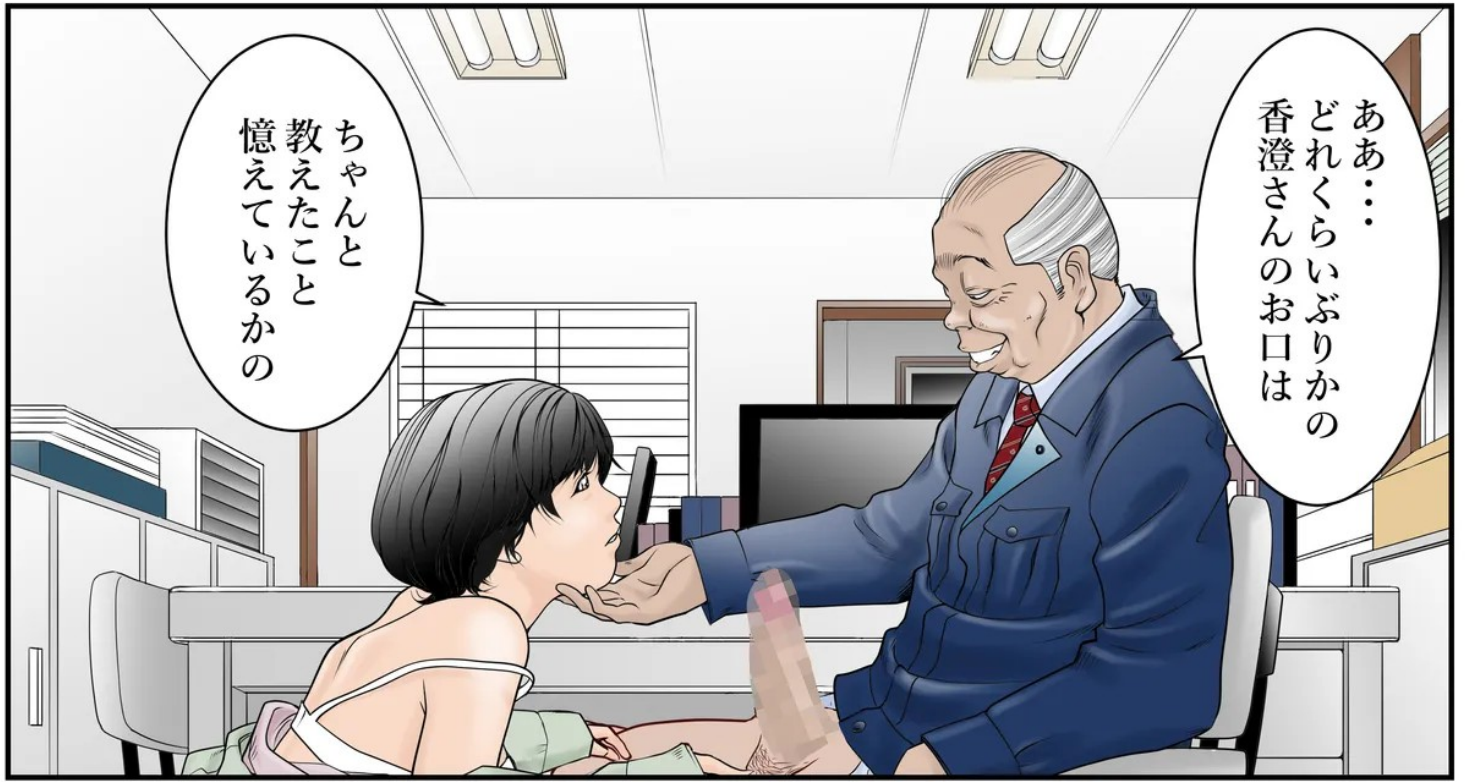


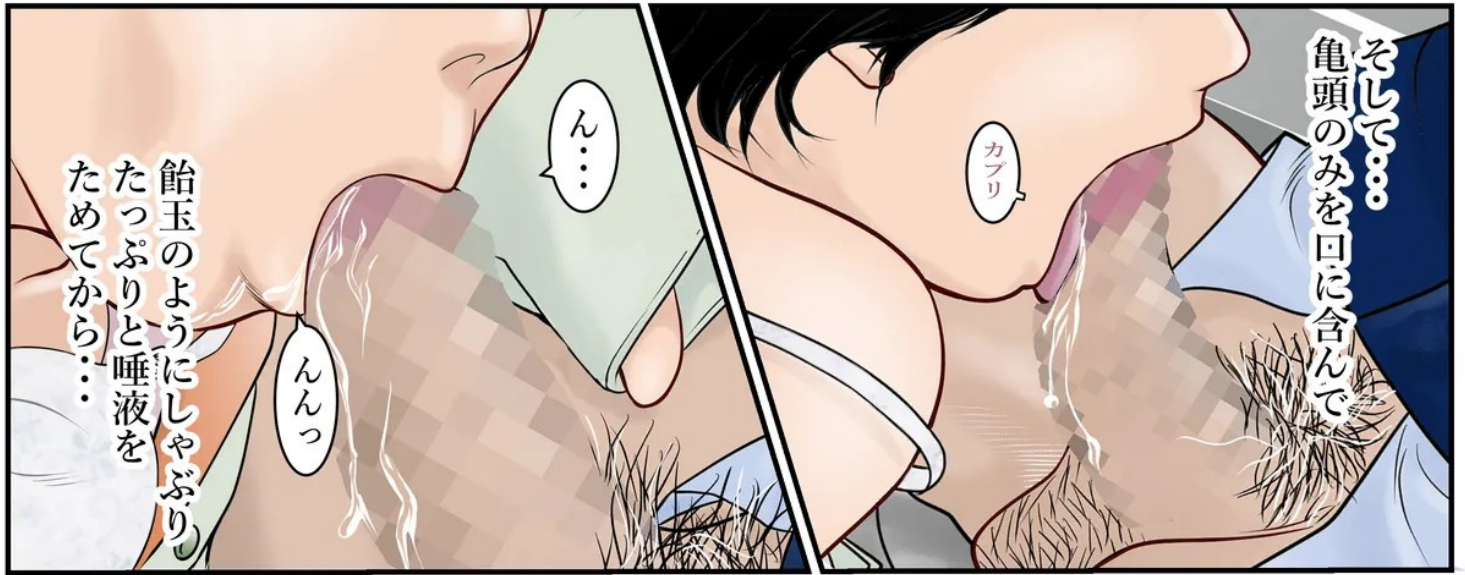
あんたにこの時間
啜ってもらったから
この通りでなっ...

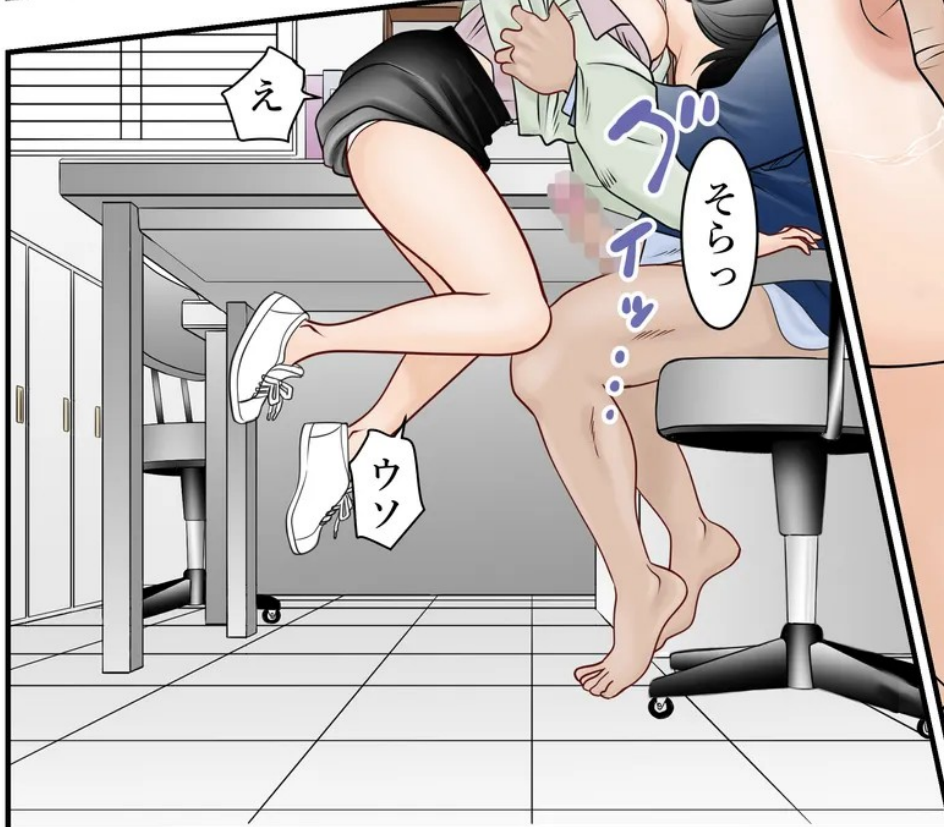
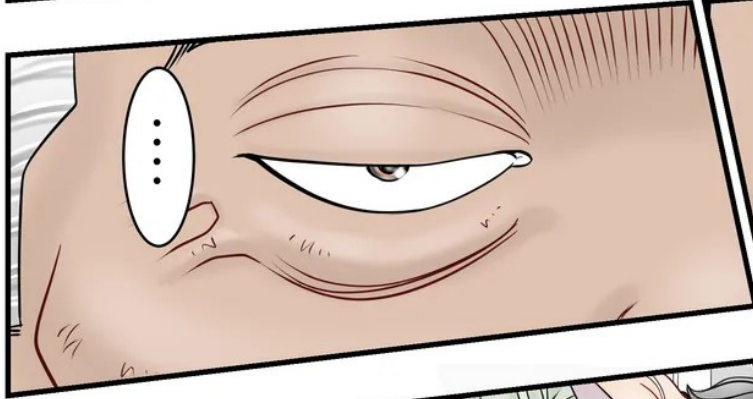
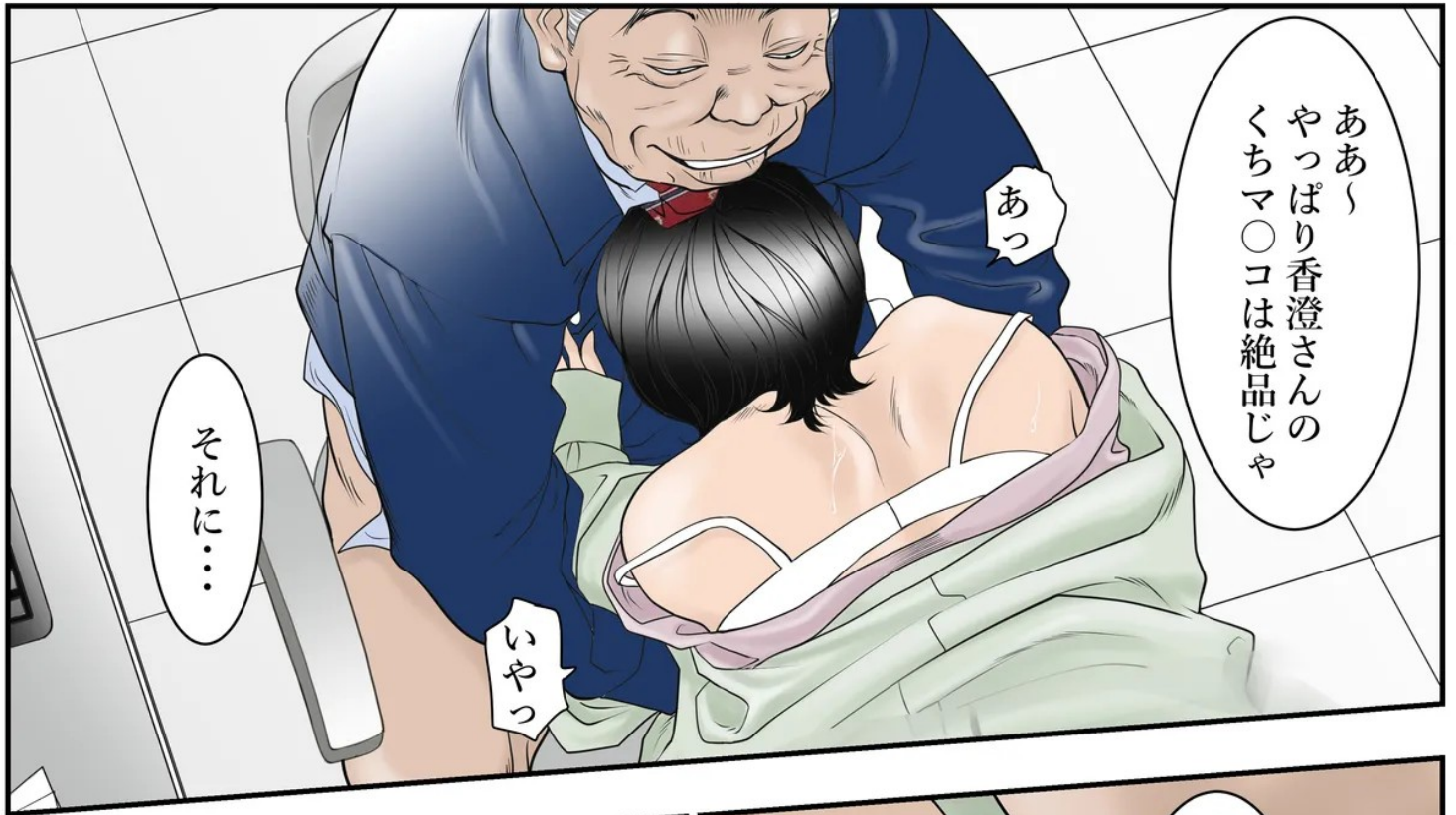


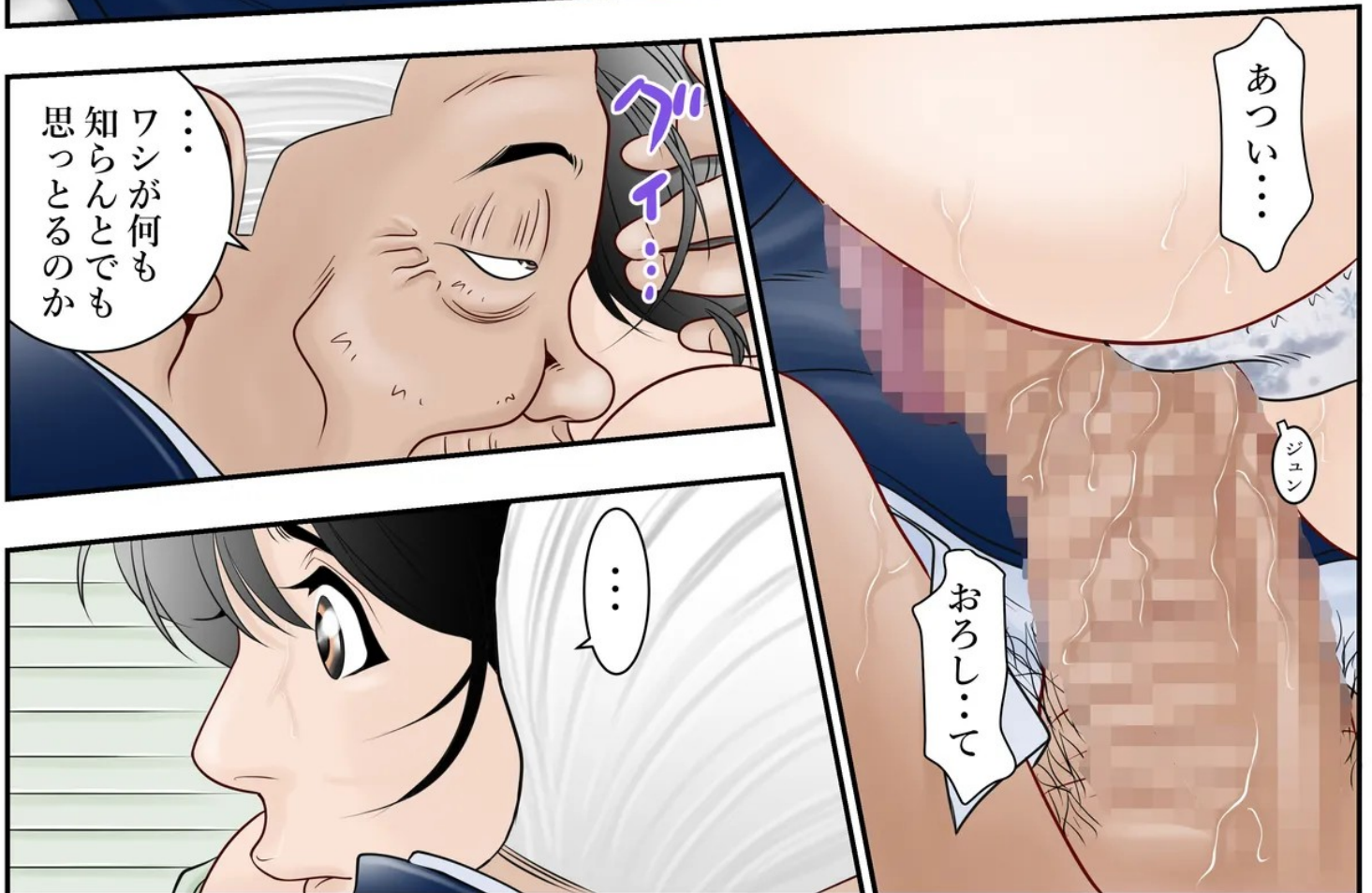
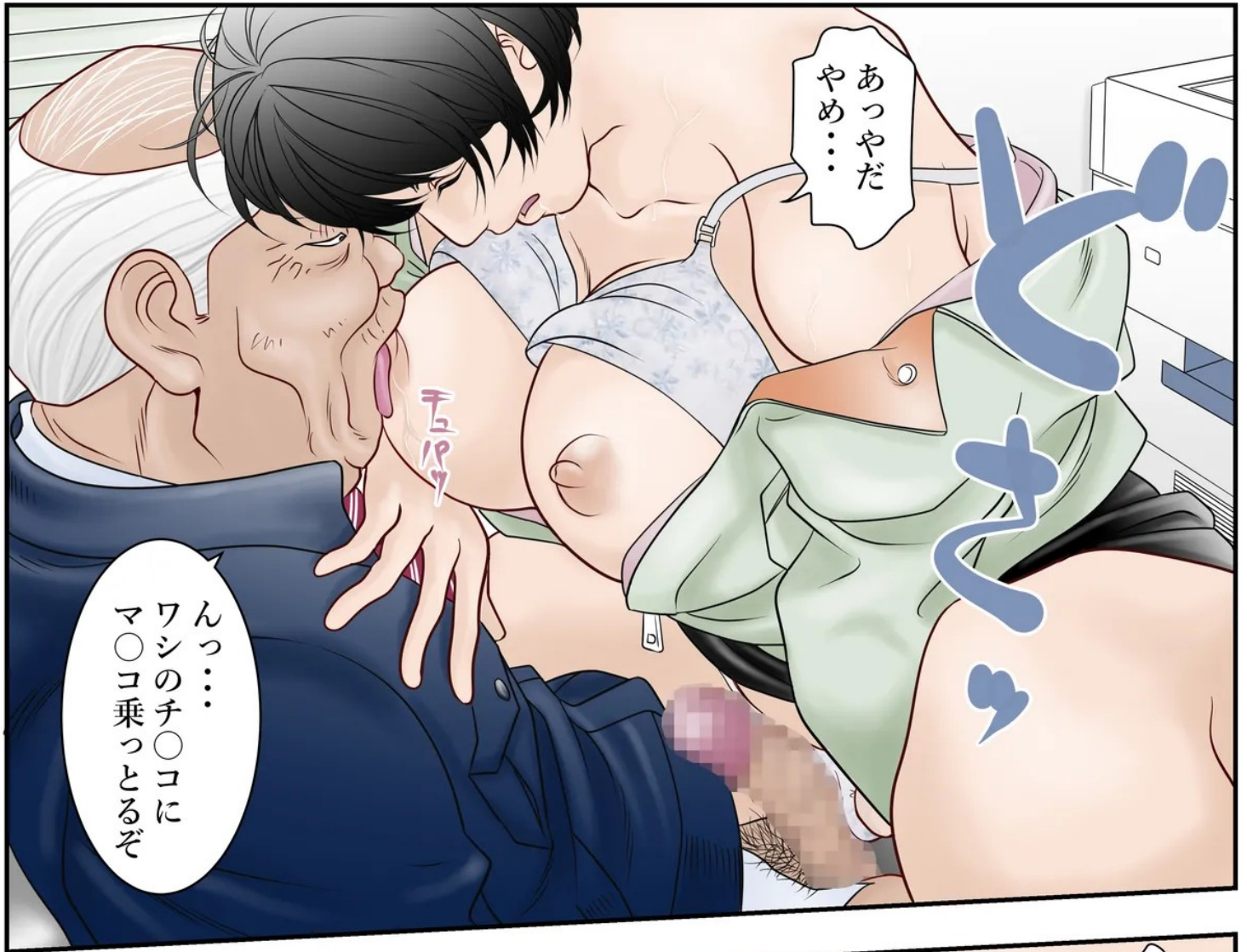
















は……入っちゃった
社長……

こんなの
……ズルイイ……

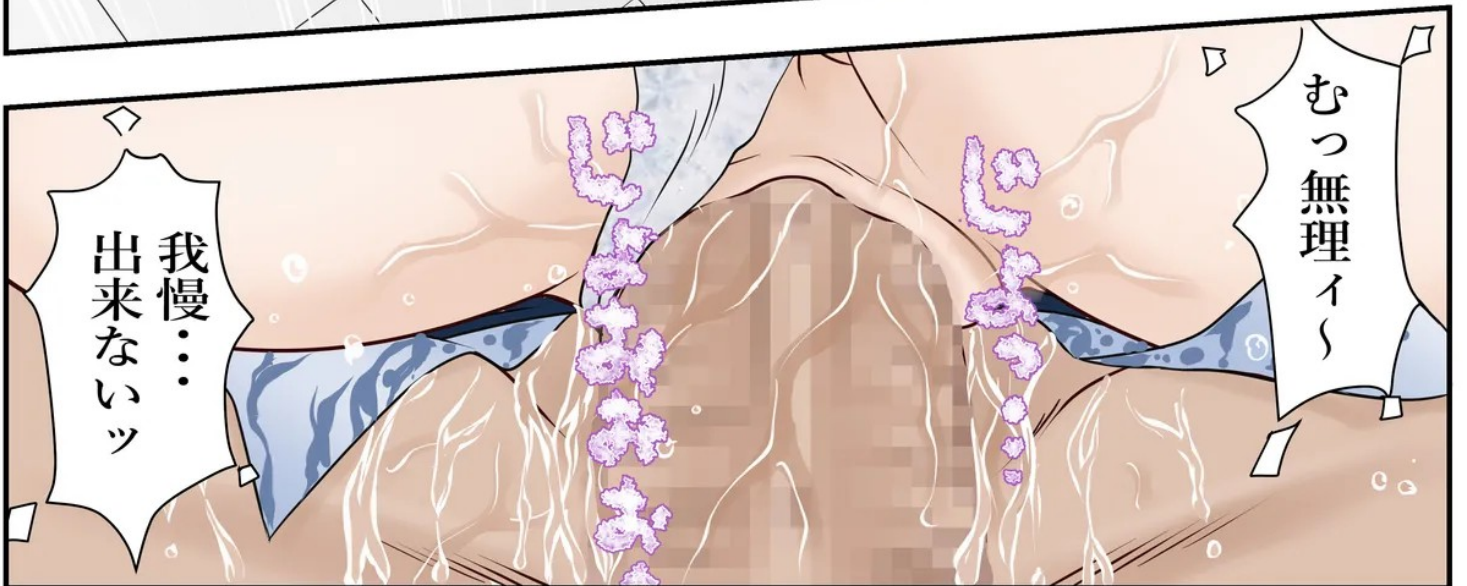
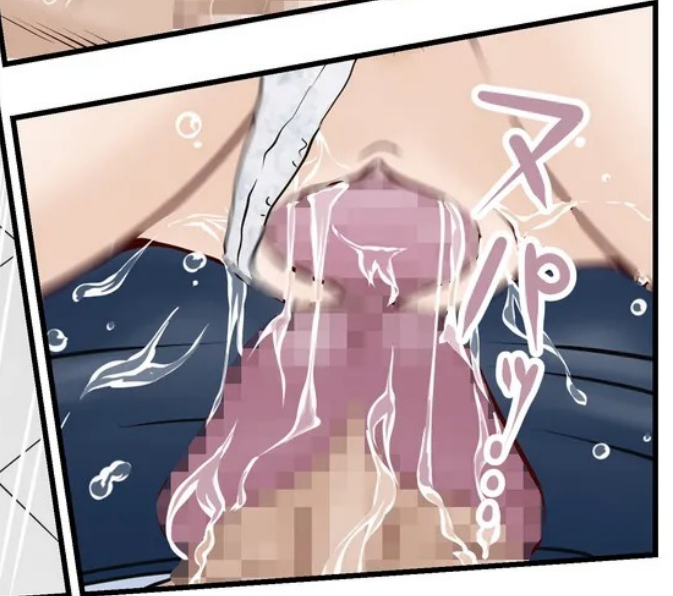
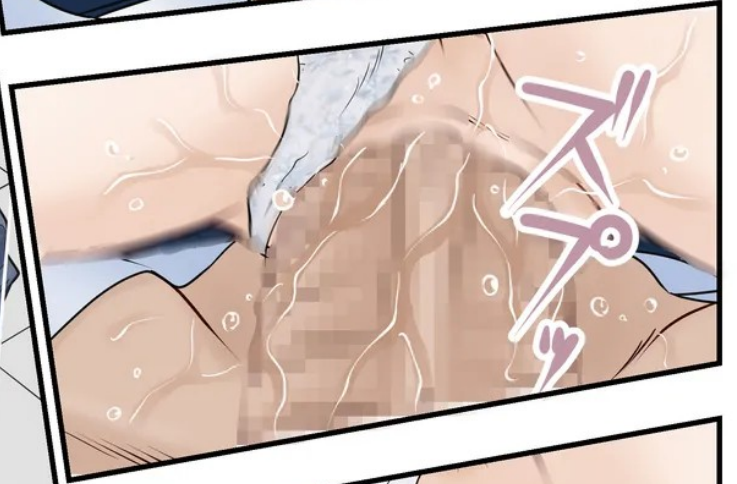
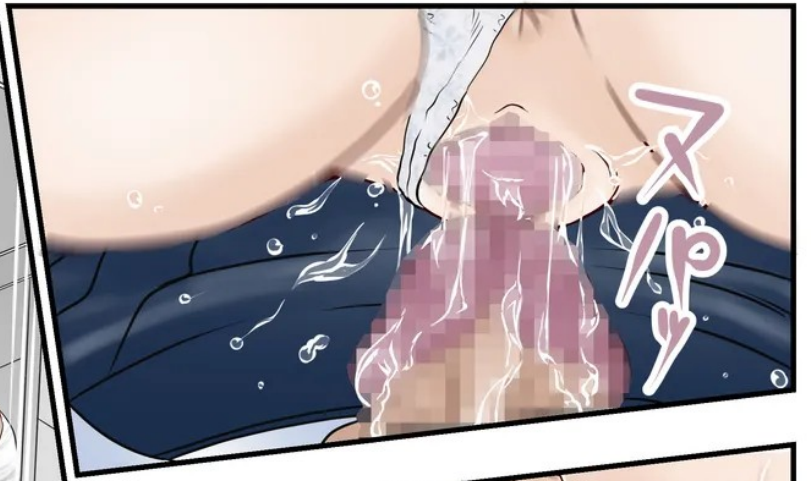
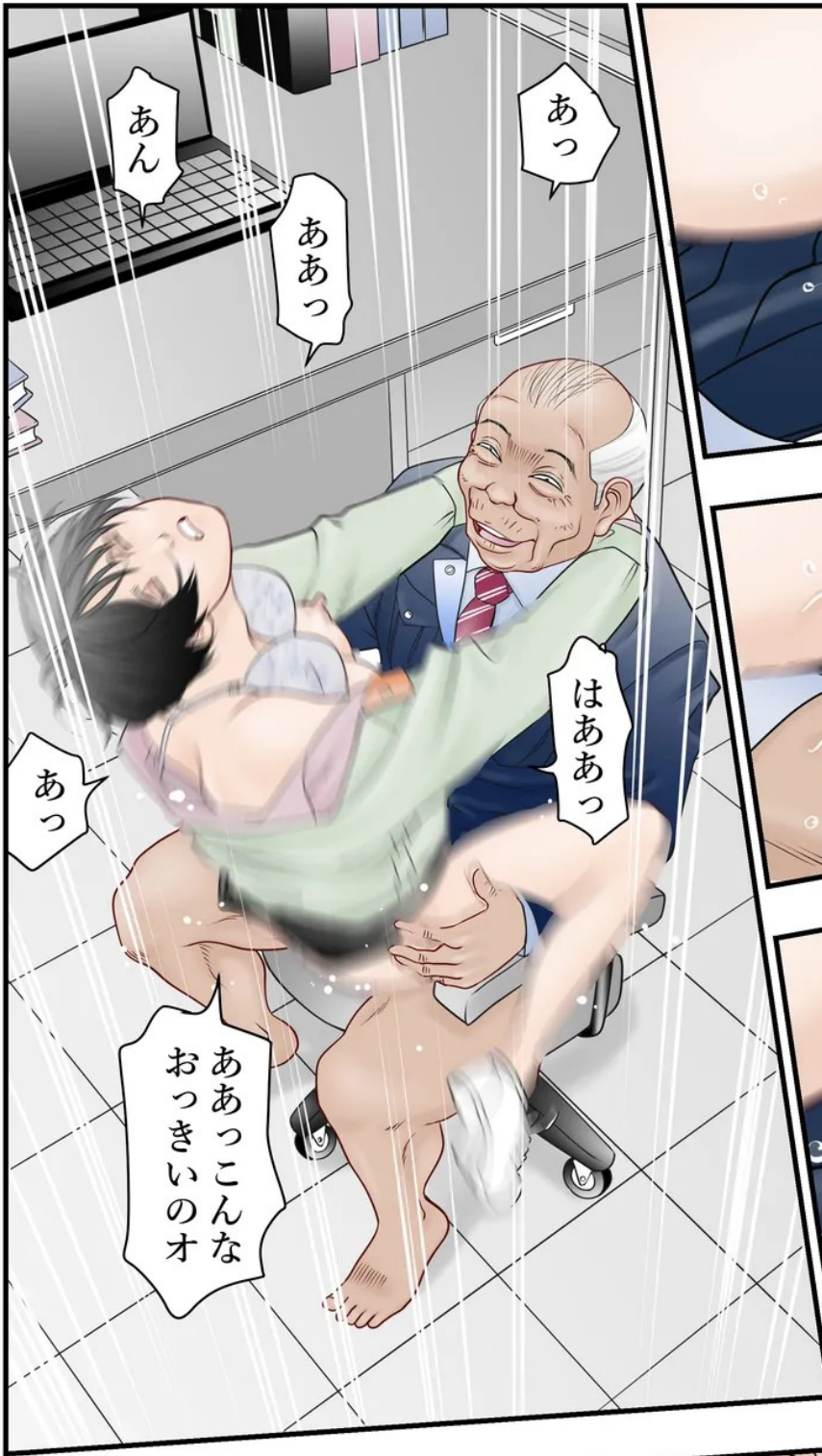
ギシ……

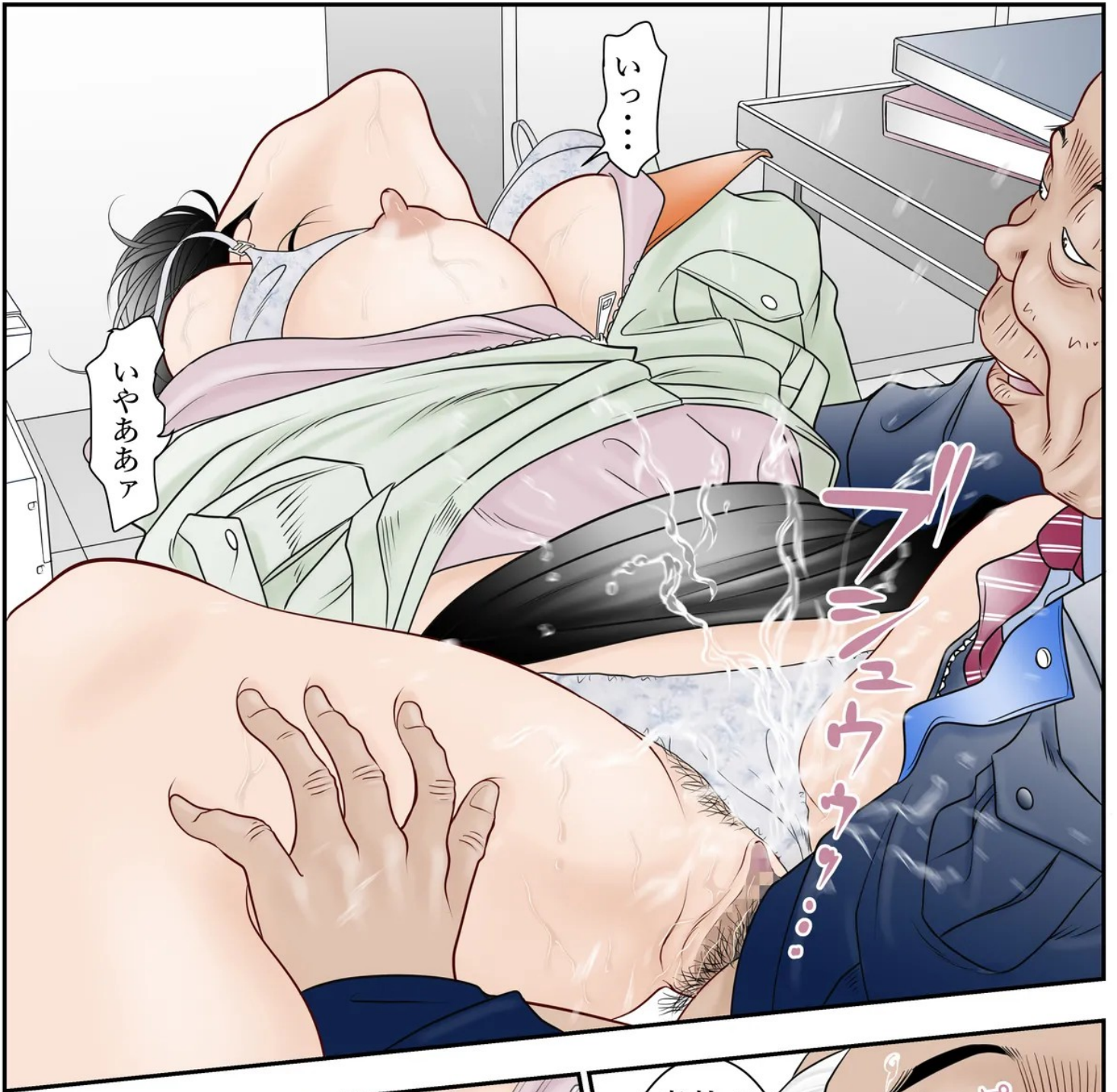
ギシツ

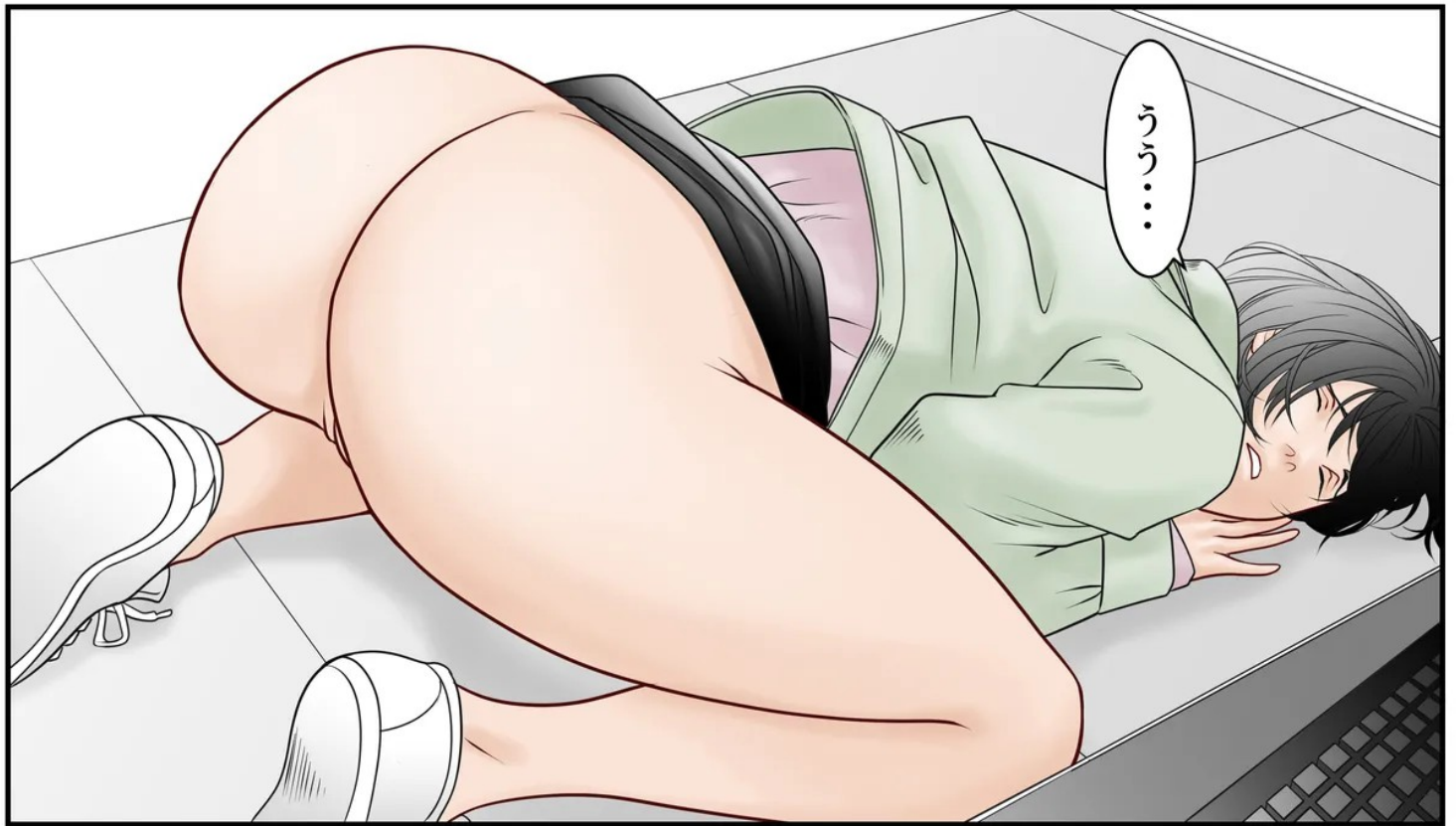
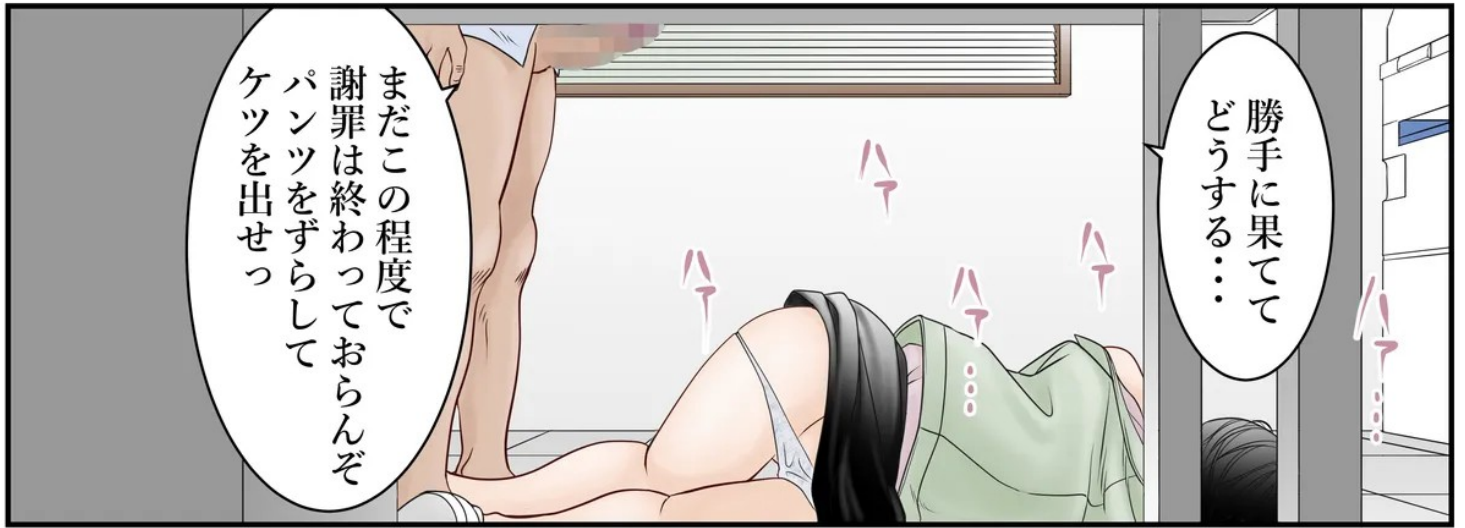
ギシッ

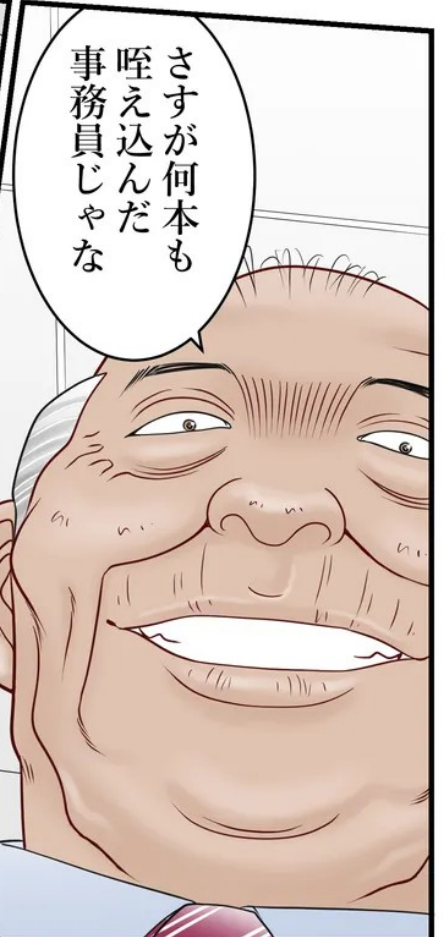
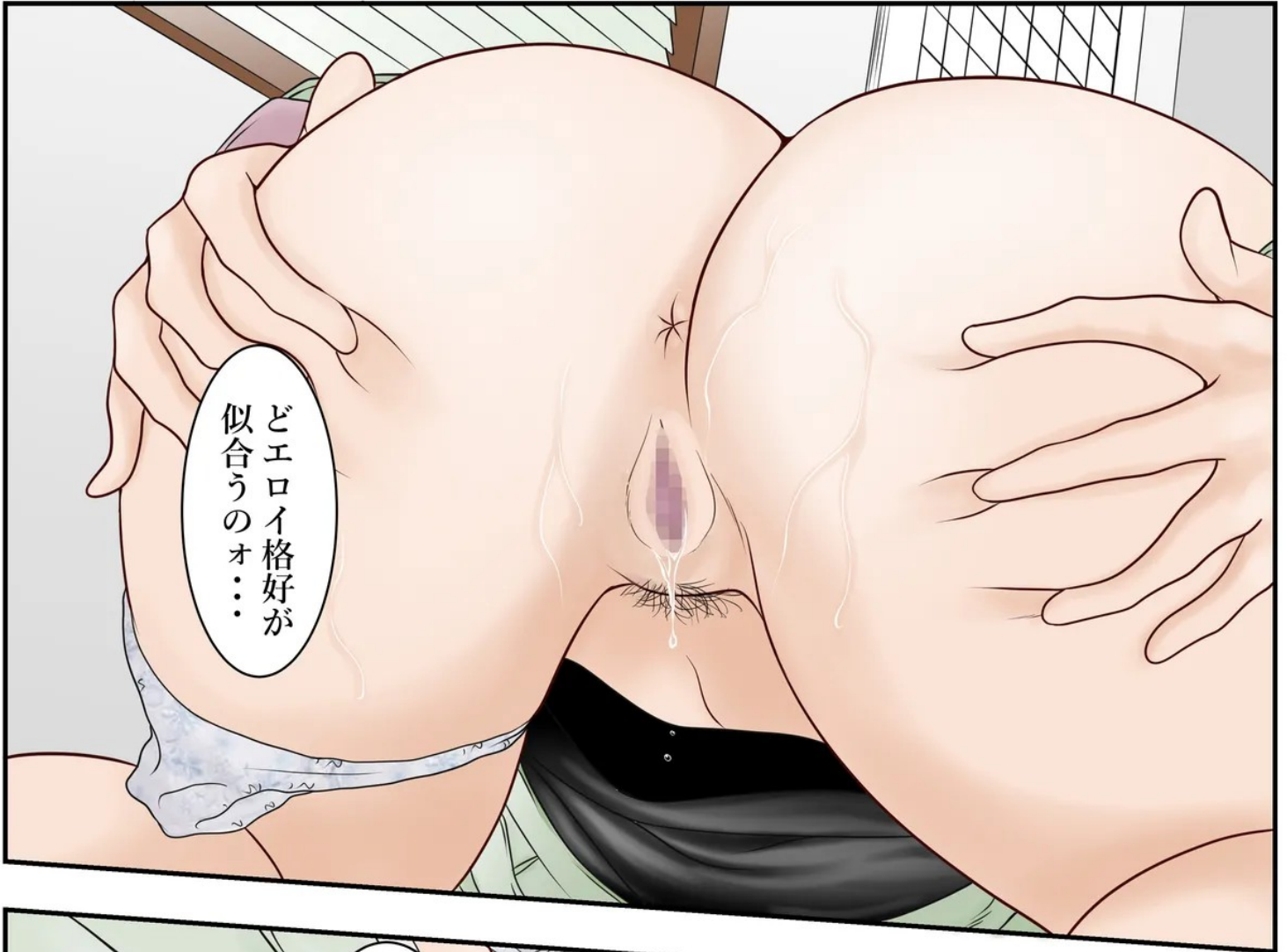
ひ……久しぶりの
モノが……

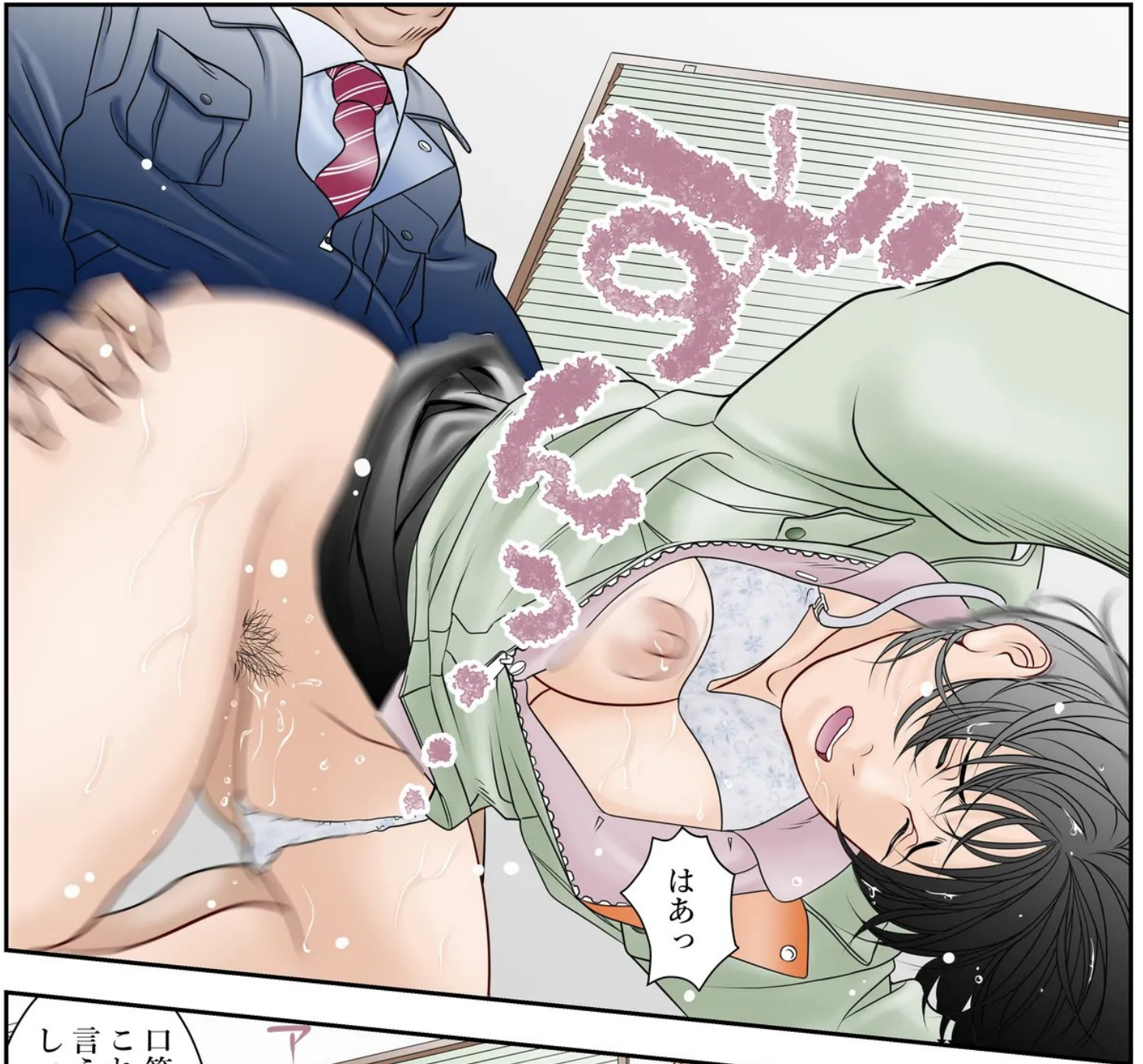
想像をこえた太さで
お腹を貫いて
くるなんて……



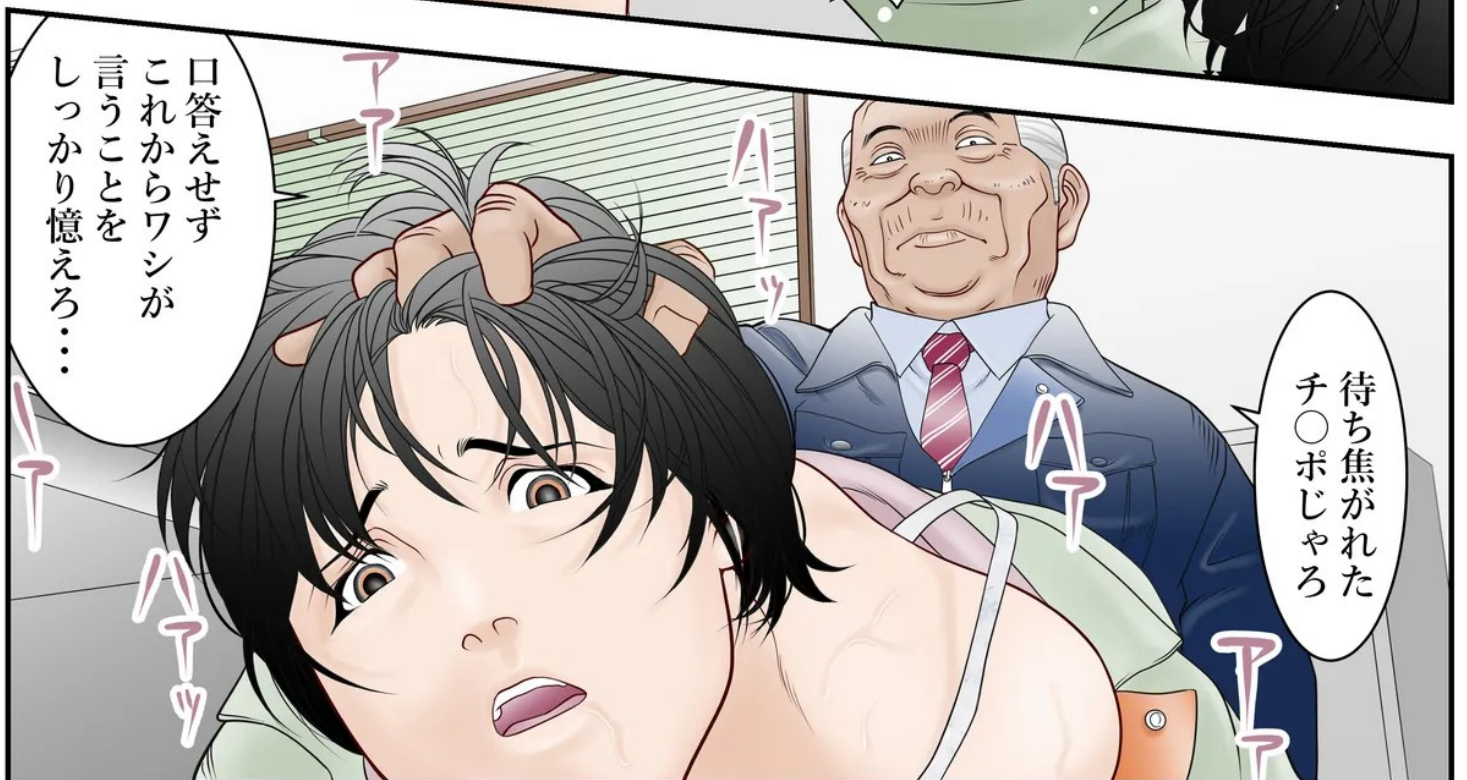








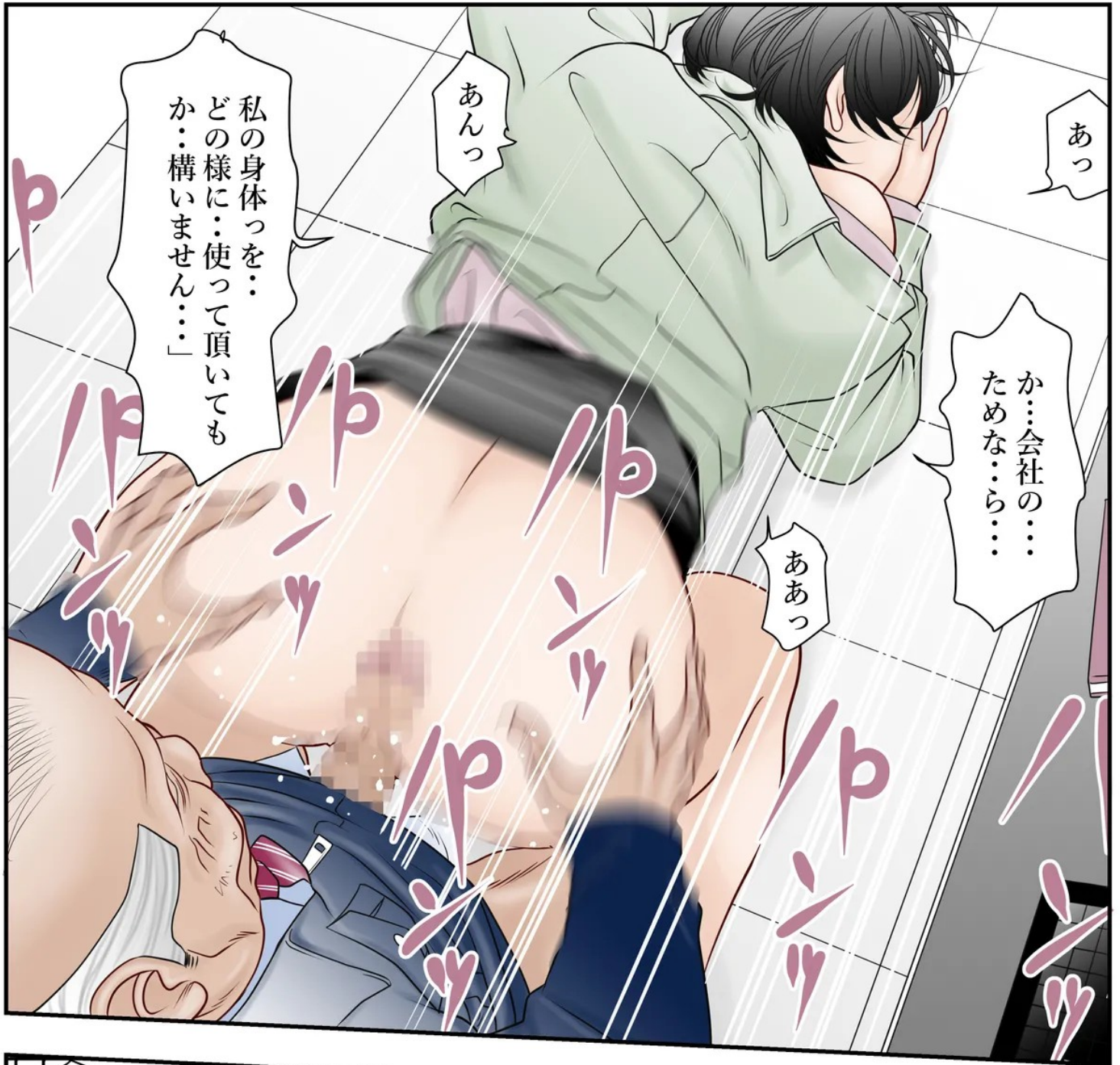
はあっ



口答えせず
これからワシが
言うことを
しっかり憶えろ...

待ち焦がれた
チ○ポじやろ





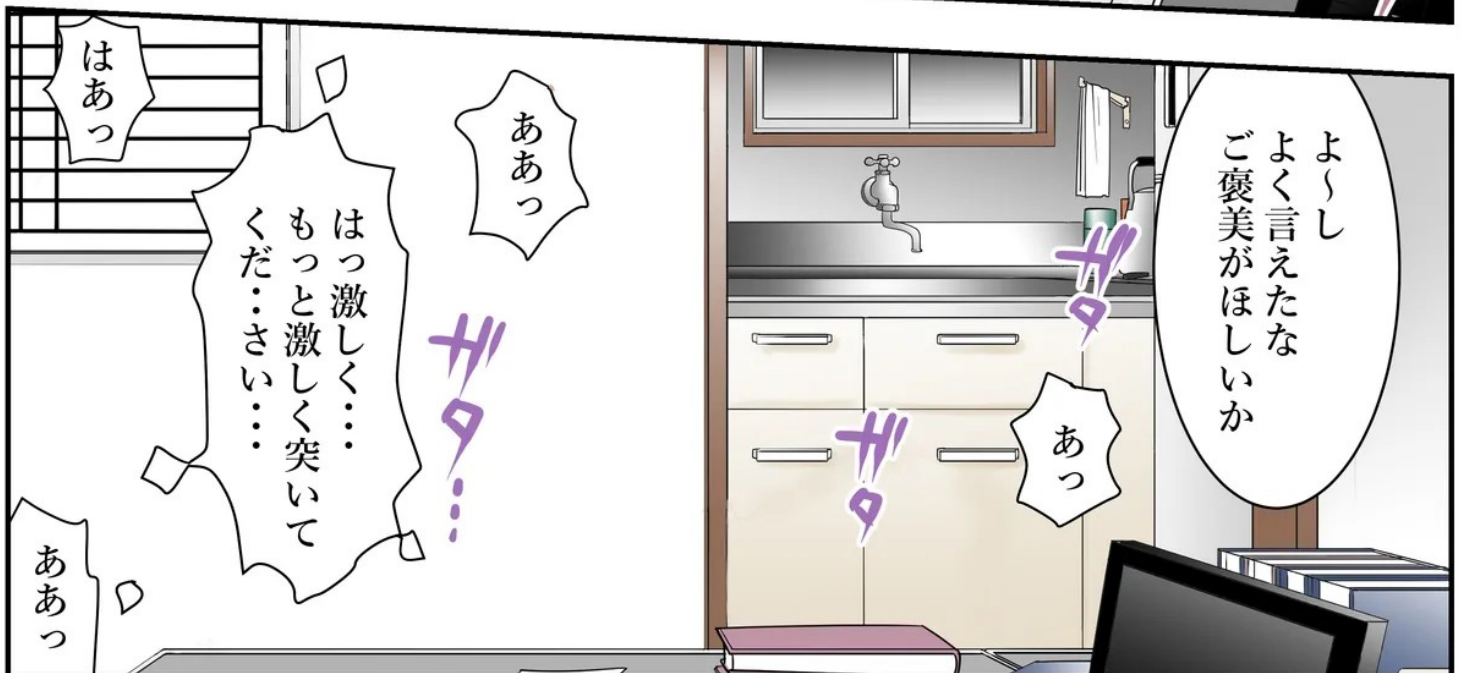
私の身体っを…
どの様に…使って頂いても
か…構いません…」

あんっ

あつ

か…会社の…
ためな…ら…

ああつ



はあつ

ああつ

はっ激しく…
もっ激しく突いて
くだ…さい…

あつ

よし
よく言えたな
ご褒美がほしいか

ああつ

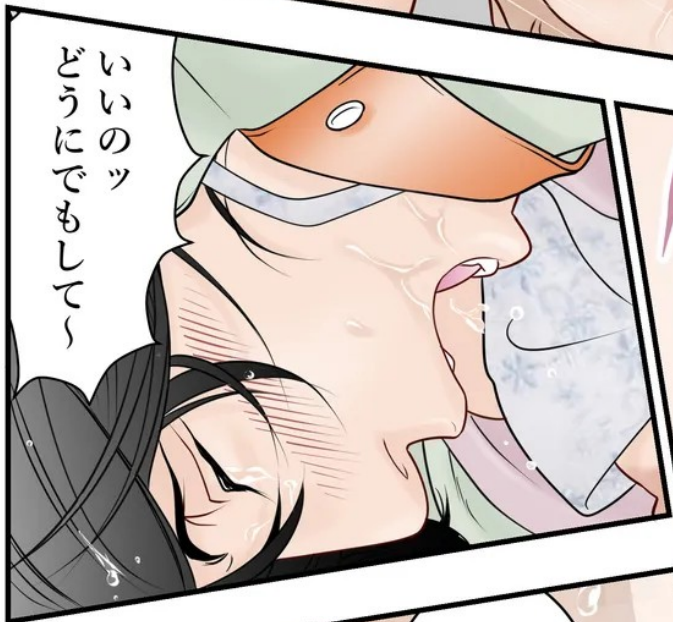


こうか
もつとかア

あん

そうっ
もつと突いて〜っ

ああっ



いいのッ
どうにでもして〜



おおっ
チ○コ膨れて
きたぞ香澄ッ
わかるか

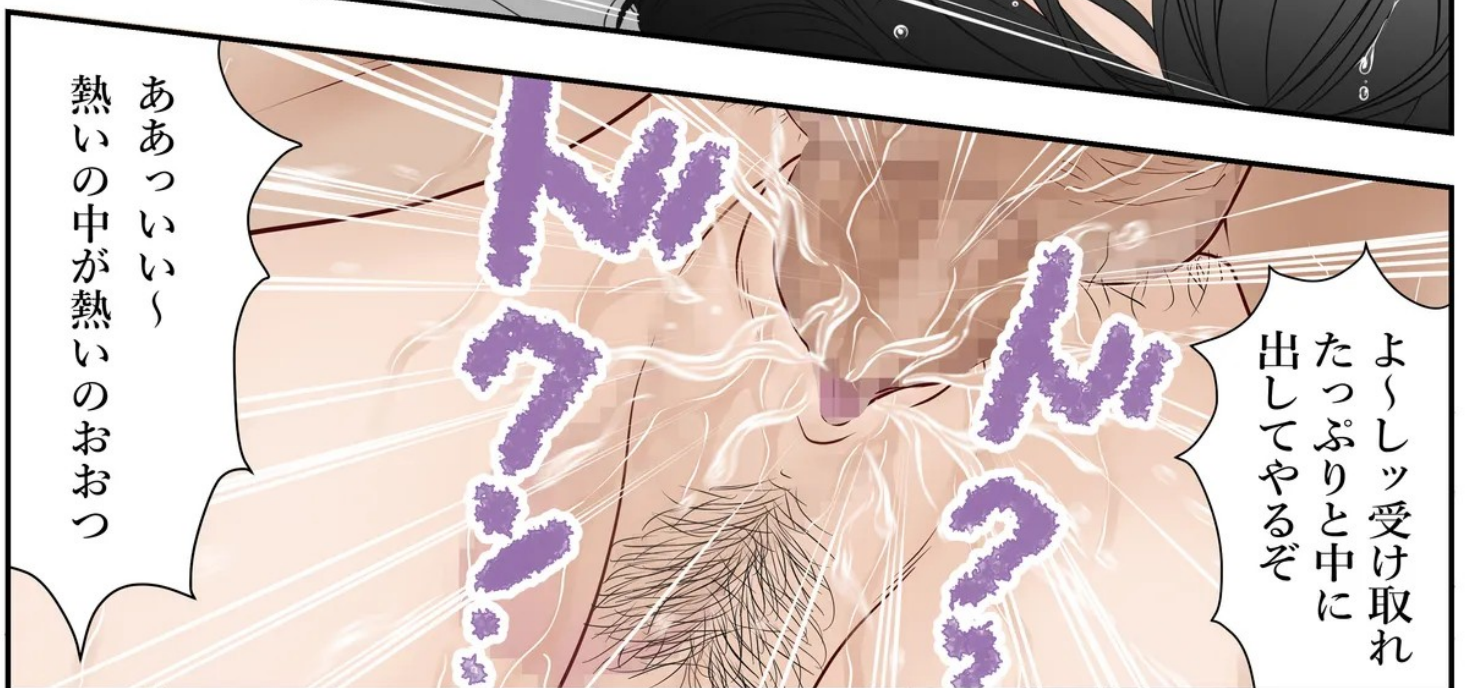


いいのか
このまま出したら
孕んじまうかもしれんぞ



だっ大好きイ〜

社長のおチ○ポ
大好きイ〜ツ



よくしツ受け取れ
たっぷりと中に
出してやるぞ

あぁっいいい〜
熱いのが熱いのおおつ



...いぢごぢぢ

あっ...
ありがとう

おいっ

